

学校図書館活用促進事業 事例集



平成30年3月

北海道教育委員会

目次

「学校図書館活用促進事業」について	1
学校図書館の目的・機能	2
学校図書館の計画的な活用	
学校図書館全体計画例	3
学校図書館年間活用計画例	4
「読書センター」の機能を活用した実践	
釧路市立中央小学校	5
羽幌町立羽幌小学校	7
恵庭市立恵明中学校	9
「学習センター」の機能を活用した実践	
斜里町立斜里小学校	11
松前町立松前中学校	13

「学校図書館活用促進事業」について

学校図書館は、読書活動の推進のために利活用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されています。

しかしながら、本道においては、学校図書館を利用する児童生徒や、授業において計画的に学校図書館を活用している学校の割合が全国と比べて低い傾向にあることから、学校図書館について、全ての教員が理解し、学校全体で計画的に学校図書館を活用できるよう、本年度から3年間にわたり実施する事業です。

北海道学力・体力向上総合推進事業 「学校図書館活用促進事業」

課題

- 学校司書の資質・能力の向上を図るとともに、学校図書館の効果的な活用について管理職をはじめ全ての教員の理解を促す必要がある。
- 年間を通じた計画的な学校図書館の活用につながるよう、学校全体での取組を位置付ける必要がある

事業概要

- 3か年にわたり全道14管内で、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した授業づくりについての研修会を実施

研修会会場校(指定校)の選定
(教育局が選定※校種は生涯学習課が指定)

「学校図書館活用促進研修会」の実施
(教育局による運営)

平成31年度までの3年で14管内実施
 ・H29→(小学校)留萌、オホーツク、釧路(中学校)石狩、渡島
 ・H30→(小学校)後志、檜山、根室(中学校)胆振、上川
 ・H31→(小学校)空知、日高、宗谷(中学校)十勝

- 参加対象 各管内の学校図書館担当教員等
※各市町村、小学校1名・中学校1名の参加期待数
- 実施時期 9月～12月の1日間
- 研修会の主な内容(案)

会場校は、生涯学習課及び教育局の指導助言のもとで、次の事項に取り組む。

- 学校図書館全体計画等各種計画の整備
- 学校図書館を活用した授業実践
- 市町村立図書館と連携した読書活動
- 学校図書館の環境整備

講座名	内容
学校図書館の在り方	基本的事項(学校図書館ガイドライン等)、教育課程との関連等についての講話
授業公開・研究協議	学校図書館を活用した授業公開
事例発表	学校図書館の環境整備、全体計画・指導計画、授業づくりについての発表
全体計画・指導計画作成	自校の資料等を持ち寄り、演習・協議

研修の成果をまとめた事例集の発行
(生涯学習課が作成)

この「学校図書館活用促進事業」では、全道14管内で、小学校または中学校1校を指定校としています。指定校においては、平成31年度までの3か年のうち1回、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した授業づくりについての研修会(学校図書館活用促進研修会)を開催するとともに、学校図書館全体計画等各種計画の整備や学校図書館を活用した授業実践等に取り組んでいます。

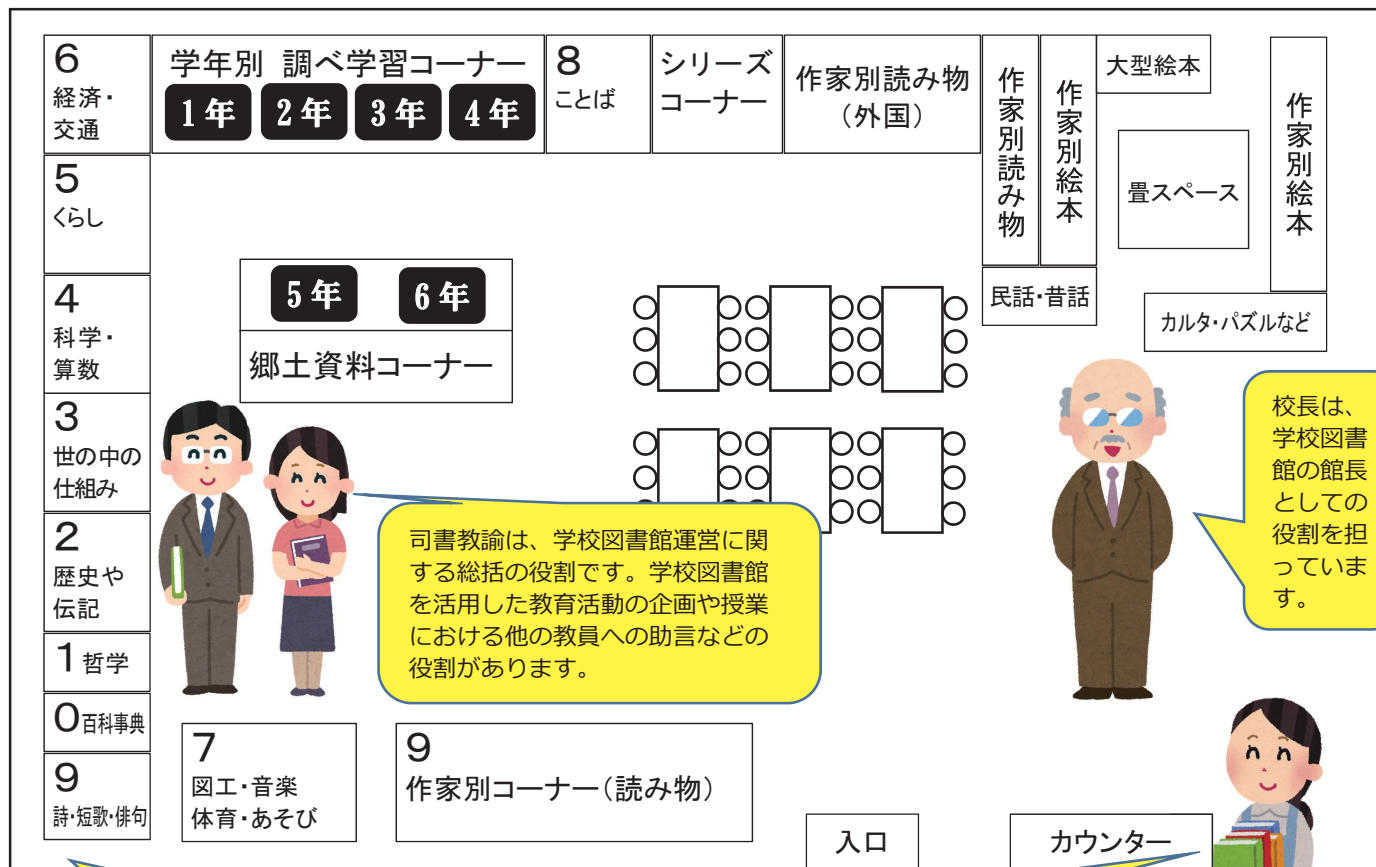
本事例集は、今年度「学校図書館活用促進研修会」を開催した5校の指定校による授業実践を中心に、指定校の取組の一部をまとめましたので、各学校における学校図書館活用の促進にお役立ていただければと思います。

学校図書館の目的・機能

学校図書館には、児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場である「読書センター」、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能を有しており、これらのことによって、学校の教育課程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成する施設です。

「学校図書館全体計画」に基づき、教職員の連携の下、計画的・組織的に運営されます。

A小学校の学校図書館の例



校長は、学校図書館の館長としての役割を担っています。

司書教諭は、学校図書館運営に関する総括の役割です。学校図書館を活用した教育活動の企画や授業における他の教員への助言などの役割があります。

図書館資料は、市町村立図書館と同様に、日本十進分類法（NDC）で分類され、児童生徒及び教職員が利活用しやすいようにしています。

学校司書は、学校図書館を運営に関わる専門的・技術的職務に従事します。例えば、図書の整理や貸出業務などのほか、教科等で使用する資料づくりの支援などの役割があります。

「読書センター」として

児童生徒の興味・関心等に応じて、自発的・主体的に、落ち着いた読書できる環境です。

「学習センター」として

各種指導計画等に基づき、各教科等の授業で、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動を展開します。

「情報センター」として

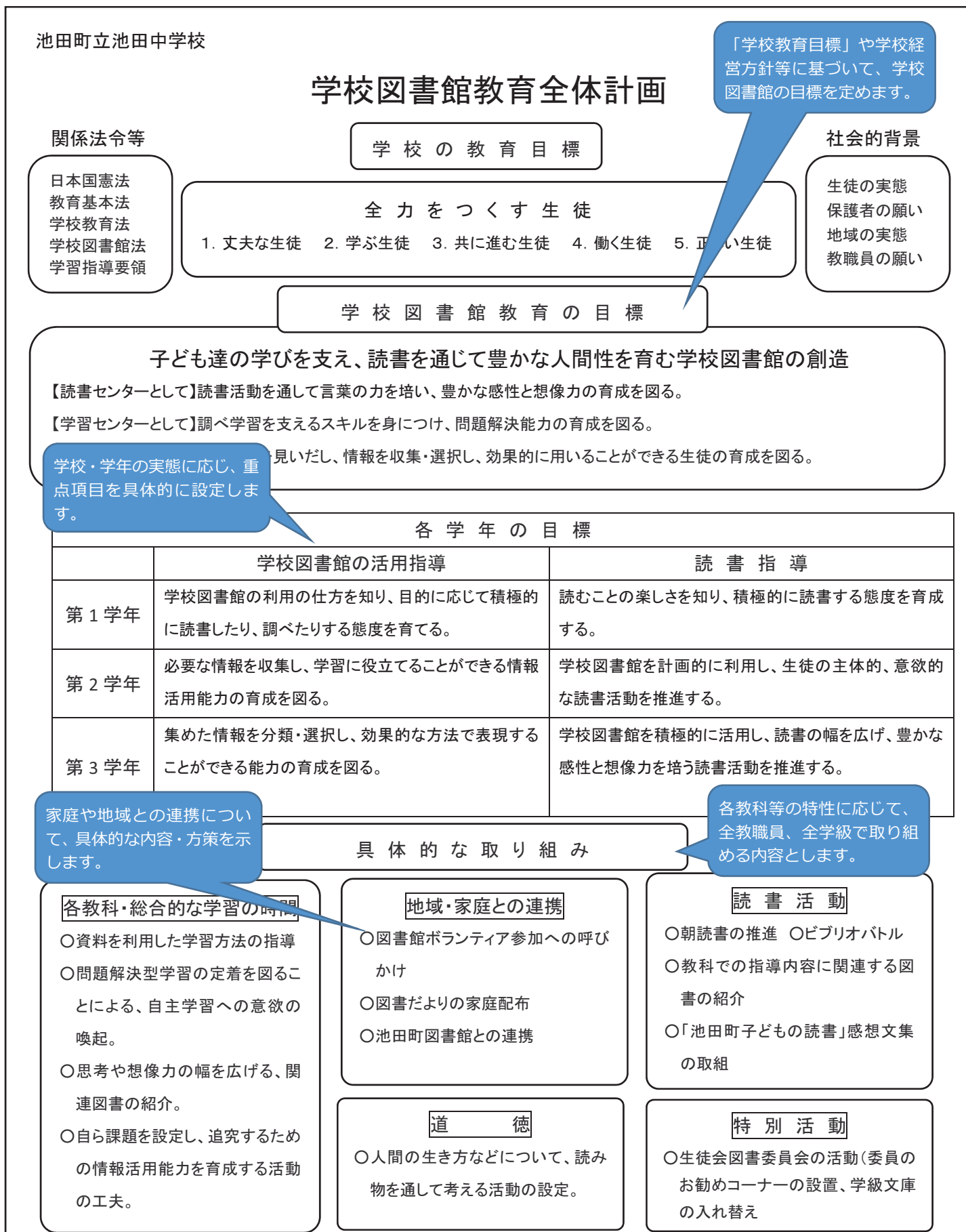
教員の授業づくりや教材準備に利用される場でもあります。

これからの学校図書館には、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割が期待されています。例えば、児童生徒がグループ別の調べ学習等において、課題の発見・解決に向けて必要な資料・情報の活用を通じた学習活動を行うことができるよう、図書資料等の充実や、学習しやすい机の配置などが求められています。

学校図書館の計画的な活用

学校図書館が期待されている役割を最大限に発揮することができるよう、教育課程との関連を踏まえた学校図書館の利用指導・読書指導・情報活用に関する各種指導計画等に基づき、計画的・継続的に学校図書館の利活用が図られるよう努めることが大切です。

学校図書館全体計画例(池田町立池田中学校・抜粋)



学校図書館年間活用計画例(栗山町立栗山小学校・抜粋)

各学年・各教科等で学校図書館を活用する学習単元等を示します。

目標		本の世界を深める(6年)				
月		4月	5月	6月	7月	8月
図書館の利用方法		学校図書館の利用の仕方	事典・年鑑・伝記・歴史の利用	教科学習と図書 の活用	本の紹介	図書の利用
教科・領域等	国語科	考えや意見をノートにまとめよう		春はあけぼの	川とノリオ	
	他教科	社)大陸に学んだ国づくり 理)人や他の動物の体	社)大陸に学んだ国づくり 理)人や他の動物の体			社)新しい文化と学問
	道徳	自分がめざすところまで	地球を救う	権利と義務		
	特別活動		避難訓練について	交通安全について	夏休みの計画	
	総合的な学習の時間	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統

学校図書館年間活用計画例(東神楽町立東神楽中学校・抜粋)

各教科での活用のほか、朝読書の時間など、教育課程外の時間の活動を含めることも考えられます。

学年	国語	社会	理科
1学年	各時期 各単元での語句調べ 4月 身近なテーマについて調べる 5月 漢字の組み立てを調べる 8月 読書案内→ポップ作成 11月 故事成語を調べる 12月 読書案内 1月 漢字のなりたちを調べる	5月 人物カードの作成 8～1月 世界の諸地域(各州の文学作品) 2月 世界のさまざまな地域の調査	6～10月 植物の世界(植物図鑑)
2学年	各時期 各単元での語句調べ 5月 職業ガイドを作る 6月 新聞活用 7月 言葉の比較→類語辞典活用 読書案内 10月 同音異義語を調べる 12月 読書案内	8月～1月 日本の諸地域(各地域ガイドマップ) 2月 身近な地域の調査(地形図、景観写真)	4～6月 動物の世界(動物図鑑) 7～10月 原子・分子(元素図鑑) 10～12月 天気図(新聞)

学校図書館の活用のポイント

- 地域の公立図書館と連携することにより、単元のねらいに対応した図書を全員に提供することができています。
- 話し合いの途中で学校図書館を活用させることにより、情報収集を効果的に行っています。

単元名

学校図書館に「おはなしどうぶつえん」をつかって、本をしょうかいしよう（第1学年 国語）


単元の目標

動物の出ってくる本を読んで友達に紹介したり、友達が紹介する本を楽しんで読んだりすることができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
動物が出てくる本を読もうとしている。	クイズにできそうな文を見つけながら、動物に関する本を読んでいる。	登場人物を確かめて、誰が出てくる話か分かるように紹介している。


学校図書館を活用した単元の学習活動例

時	単位時間の目標	○主な学習活動
1	単元の学習のめあてを決め、学習の見通しをもつことができる 	○学校図書館で動物が出てくる本の読み聞かせを聞き、「おはなしどうぶつえん」をつくるという学習の見通しをもつ。 ○地域の図書館の団体貸出を活用し、好きな時間に自由に読むことができるようにする。
		学校図書館活用のヒント！ 単元で扱うテーマに合わせて、自分たち本を選んでいきます。地域の公立図書館と連携することにより、多くの種類の本が用意できます。
2	好きな本や好きな場面を「読書カード」に書いて友達に紹介することができる。	○好きな本の紹介文を「読書カード」に書く。 ○「読書カード」を活用しながら、グループで本の好きな場面を紹介し合う。
3	グループで協力して、より楽しいクイズをつくらうとすることができる	○「読書カード」を見ながら、クイズを考える。 ○つくったクイズについて話し合い、協力してよりよいクイズをつくる。
4 ・ 5	みんなで協力して「おはなしどうぶつえん」を完成させることができる。 学校図書館活用のヒント！ つくった作品を掲示することで、他の学年の児童にとっても学校図書館が楽しい場所となります。	○学校図書館に「おはなしどうぶつえん」をつくる。 ○「おはなしどうぶつえんシート」に好きな場面の絵とクイズを書いて、各コーナーに掲示していく ○各コーナーを見学し、クイズの答えと紹介してくれた人へのメッセージを「おきゃくさまカード」に書いて箱に入れる。 ○集まった「おきゃくさまカード」を見ながら、活動を振り返る。 

1 単位時間の指導

目標	読んだ本の好きな場面が楽しく紹介できるクイズをつくることができる。
----	-----------------------------------

展開例（3 / 5 時間）

過程	○主な学習活動
導入	○各自の好きな場面を確認し、本時の学習課題と学習内容を把握する。 【かだい】グループできょうりよくして、たのしいクイズをつくろう。
展開	○これまでに書いた「読書カード」を見ながら、個人でクイズを考える。 ○個人でつくったクイズを交流し、より楽しいクイズとなるよう、互いにアドバイスし合う。  <div data-bbox="734 627 1340 851" style="border: 2px solid black; background-color: #ffff00; padding: 10px; border-radius: 15px; display: inline-block;"> <p>学校図書館活用のヒント！ 学校図書館で授業を実施することにより、グループでの話し合いの途中でも気になるところがあれば、すぐ本を探しに行くことができます。</p> </div> <div data-bbox="223 896 1388 1064" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【まとめ】 学校図書館に来た人が「おはなしどうぶつえん」で楽しんでもらえるよう、大好きな場面をクイズにして、たくさんの人に読んでもらえればいいね。</p> </div>
終末	○本時の学習を生かし、個人で考えたクイズを見直す。 ○本時の学習を振り返り、次時の活動に見通しをもつ。

特色ある取組

学校支援ボランティアによる支援

本校の学校図書館は、地域の方々による「学校支援地域本部」の支援により、充実した読書活動や学校図書館の環境整備がなされています。

学校図書館の全体計画や年間活用計画等に基づき、共通理解を図りながら、様々な人材が連携して学校図書館運営を行っています。



学校支援ボランティアの総会



図書館の飾り付け



読み聞かせ



クリスマス会

学校図書館の活用のポイント

- 日常的に学校図書館を活用して読書に親しませることにより、主体的な言語活動を展開しています。
- 言語活動を通してつくった作品を学校図書館に掲示することにより、児童の学習意欲を向上させています。

単元名

「図書すいせん会」を開こう（第5学年 国語科）


単元の目標

人物や場面の描かれ方を読み味わいながら、読書生活を豊かにする。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
日常の読書に親しみ、図書館を利用するなど、進んで「図書すいせん会」の準備をし、発表しようとしている。	読書をもとに「図書すいせん会」に向けて内容を整理して書き、掲示している。	推薦する本を感想や、短い言葉を使って表現している。

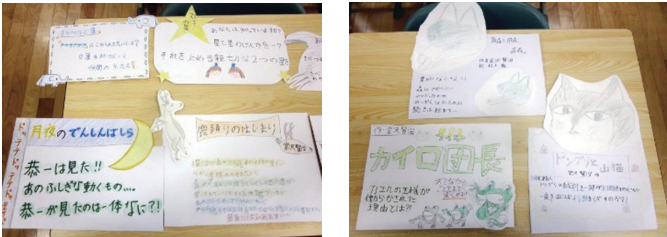
学校図書館を活用した単元の学習活動例

時	単位時間の目標	○主な学習活動
1	学習の見通しをもつことができる。	○「雪わたり」という物語を読み、単元の最後に「図書すいせん会」をひらくということを確認する。
2	登場人物の性格について考えることができる。	○かん子、四郎、紺三郎のそれぞれの性格について、教科書の表現をもとにまとめる。
3	表現の工夫についてまとめることができる。	○「リズムある表現」「たとえを使った情景描写」の2点についてまとめる。
4	「雪わたり」のおもしろさを考え、発表することができる。	○自分が「雪わたり」を他人に紹介するつもりで、雪わたりのおもしろさを紹介する文章を書く。 ○書いた文章を交流する。
5	推薦したい本を選び、「図書すいせん会」の準備をすることができる。 	○発表するのではなく、読み合って感想を交流するという「図書すいせん会」の見通しをもつ。 ○グループごとに推薦する作者を1人決定し、その作者の作品について読み合う。
6 7 8	紹介の仕方を工夫しながら推薦の文章を書くことができる。	○グループで紹介する方法を決定し、推薦する文章を書く。
9	他のグループの紹介を聞き、感想を書くことができる。	○「図書すいせん会」を開き、感想を交流し合う。 ○付箋を使ってそれぞれのグループの紹介文章への感想を書き、交流し合う。

学校図書館活用のヒント！

日常的に学校図書館を活用した読書活動を継続することにより、推薦する本をスムーズに選ばせることができます。

1 単位時間の指導

目標	読書をもとに紹介する方法を整理しながら、推薦の文章を考えることができる。
展開例 (6 / 9 時間)	
過程	○主な学習活動
導入	○前時の振り返りをする。 ○本時の学習課題を把握する。 【学習課題】 選んだ本の良さが伝わるような紹介の仕方、表現方法を考えよう。
展開	○本の良さが伝わるために意識すること（「リズムのある表現や美しい描写など、本の特徴を捉える」「相手に伝わるように構成や推薦の言葉を工夫する」）を確認する。 ○全体で、新聞、ポスター、ポップ、本の帯紙、パンフレットなどの紹介方法の確認をする。 ○グループで話し合い紹介の方法を決める。 ○グループ内でどんな話し合いになったかを中間発表し、ほかのグループの話も参考にして自分たちのグループの紹介の仕方を決定する。 ○推薦するために必要な文章やキャッチコピー、ポップのデザインなどを紹介ノートから持ち寄り、グループで構成を考える。 <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学校図書館活用のヒント！ 実際のポップや本の帯紙を参考にさせることで、よりよい紹介方法を工夫させることができます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学校図書館活用のヒント！ つくったキャッチコピーやポップを学校図書館に掲示することにより、他の学年の読書活動の活性化につながります。</p> </div> 
終末	○学習をまとめる。 <まとめ> 見る人を意識して、短くわかりやすい文章を書くことが大切 ○ノートに振り返りを書く

特色ある取組

公立図書館との連携

本校では、道立図書館や町立図書室と連携し、「ブックフェスティバル」を開催するなど取組を行っています。多くの本を体育館に並べ、自由に借用、閲覧できるようにしたり、読書の楽しさが伝わるようなお話をさせていただいたりして、児童の本への興味・関心を高めています。



ブックフェスティバルの様子

学校図書館の活用のポイント

- 学校図書館を活用した全校的なイベントを活用することにより、生徒の社会生活に結びつく言語活動の充実を図っています。
- 学校司書と連携した授業を実施することにより、よりきめ細かな指導を行っています。

単元名

「恵明中の文庫X」を作ってみんなに紹介しよう（第2学年 国語）

(※「文庫X」…本の表紙を紙で覆い、題名も作者名も分からないようにしたもの。本を覆った紙にはその本の魅力がひたすら述べられている。)


単元の目標

紹介したい本の構成や展開、表現の仕方に注目し、本の魅力について適切な情報を多様な方法で得て、自分の考えをまとめることができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
友達に紹介するための本を選び、その本の魅力を表現するためにインターネットや新聞等から情報を集めようとしている。	本に関する情報を多様な方法で集め、対象の共感を得ることを視点にして自分の考えをまとめている。	調べた情報にある語句について理解し、友達に伝わりやすくするために適切な言葉に置き換えている。

単元の指導計画例

時	単位時間の目標	○主な学習活動
1	友達に紹介するために本を選び、自分なりに本の魅力を考えることができる。 	○単元の目標「『恵明中の文庫X』を作成し、学校図書館に置いてもらい、『図書館まつり』で紹介しよう」について確認する。 ○紹介する本を決め、紹介する理由をまとめる。 学校図書館活用のヒント! 学校図書館で行うイベントと結び付けることにより、生徒の言語活動を活発にすることが期待できます。
2 3	紹介したい本について得た情報を、作品の魅力を伝えることを視点に選択して自分の考えをまとめることができる。	○インターネットの本の感想サイト等から、よりよい表現を選択しながら、紹介したい本の情報を集める。 ○本の魅力をまとめ、「文庫X」を作る。 学校図書館活用のヒント! 学校図書館でを活用することにより、同じ作者やテーマの本など、幅広く情報収集することができます。
4	友達の紹介を聞き、自分の知識や体験と関連付けながら、自分の考えをもつことができる。	○学級で「文庫X発表会」を開く。 ○グループごとに完成した「文庫X」の発表会を行い、相互評価でグループの代表を1つ選ぶ。 ○各グループの代表作品を学級内で発表し、学級の代表作品を選ぶ。
5	様々な本の魅力について、自分の考えをもつことができる。	○「本の魅力」について考えよう ○これまでの学習を振り返り、グループで交流し、自分の考えをまとめる。

1 単位時間の指導

目標	友達の紹介を聞き、自分の知識や体験と関連付けながら、自分の考えをもつことができる。
展開例（4 / 5 時間）	
過程	○主な学習活動
導入	<p>○単元の目標、本時の学習課題を確認する。</p> <p>○前時までの学習内容を振り返り、本時の課題につながるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】「恵明中の文庫X」の学級選考会を開き、友達が発表する「本の魅力」を聞いて自分の考えをもとう</p> </div>
展開	<p>○グループで一人ずつ「文庫X」を紹介し、発表後にグループの全員が評価をする。</p> <p>○全員の発表後、グループで話し合い、代表者を1名決める。</p> <p>○代表者の薦めた本の魅力についてグループで話し合う。</p> <p>○学級全体で選考会を開き、グループの代表者に発表させ、同じグループの他の1名に代表者の本の魅力を紹介させる。</p> <p>○学級代表を決定する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ある日、やってきた島で、少女と少年は、胸に落ち、涙の本の島の楽しい生活をおくっていた。その楽しい生活は続かず、少年にはある出来事が?! 東京どうやらから来た主人公とある時、やってきた島で出会った少年の恋と友情の物語♡</p> <p>「胸」がぎゅっとしめつけられます。 ← 「なやみのある本」にオススメ!</p> <p>沖縄を舞台としているので、「キラキラ」とした世界観にきゅっと引き込まれていくことまちがいない!</p> <p>「涙」「涙」の感動の一冊! ぜひ読んでみて下さい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>もと理科が好きになる!</p> <p>かわいいイラストで読みやすい! 手軽に詳しく、とにか楽しい。誰もが楽しめる本! なんとどこでも売って4275円以上!? 銀算の値とがやモトは同じ成分!? 食物連鎖の想像バトル!!</p> <p>理科が苦手で大丈夫! もしも得意になるかも!!</p> <p>爆笑 & ナックル</p> <p>「科学の扉が開いていく」</p> <p>息抜きにぴったりの本!</p> <p>想像の世界を科学的に分析・解説し、どのような利点があるのか、わかる。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">生徒が作成した「文庫X」</div> </div>
終末	<p>○本時の感想をまとめる。</p> <p>○感想を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの本には読み手の感じる「魅力」が存在する。 ・「本の魅力」を伝え合い、共感することで、私たちの読書生活が広がっていく。 </div>

特色ある取組

生徒主体による取組

本校の学校図書館では、夏季・冬季の長期休業前に生徒会主催による「図書館まつり」を開催しています。「おすすめ本の展示」や「くじ引きコーナー」など、毎回多くの生徒が学校図書館を訪れ、楽しんでいます。



冬まつりの様子

学校図書館の活用のポイント

- 学校図書館にある様々な資料を活用した調べ学習により、主体的・協働的で深い学びの実現につながっています。
- グループで活動できる場を保障することにより、児童の対話が活発になり、言語活動の充実が図られています。

単元名

月と太陽（第6学年 理科）

単元の目標

- 月の位置や形の変化について興味・関心をもち、月の見え方と太陽との位置関係から推論して追究し、月の見え方が規則正しく変化する理由について考えることができるようにする。
- 観察や資料に基づいて、月と太陽の表面の違いを理解することができるようにする。

単元の評価規準

自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての 知識・理解
①月の見え方に興味をもち、経験に基づいて疑問を見付け、調べようとしている。 ②月や太陽の表面に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	①月の形が日によって違うことを、月と太陽の位置関係の変化と関連付けて考え、表現している。	①月や太陽の表面の様子に関する観察や資料調べを行い、目的に応じて整理したり記録したりすることができている。 ②月の形の見え方について、モデル実験の意味を理解して実験を行うことができている。	①月の表面の様子を太陽と比較しながら調べ、それぞれの特徴や違いを理解している。 ②月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わり、いつも月の光っている側に太陽があることを理解している。

学校図書館活用のヒント！

学校図書館を活用した調べ学習を各教科等の単元に組み込むことにより、主体的・協働的な学びの実現が期待できます。


学校図書館を活用した単元の学習活動例

次	時	単位時間の目標	○主な学習活動
第一次	1	いつも光っている方に太陽があることを理解することができる。	○月の形や太陽の位置を観察する。 ○観察を通して、太陽の位置と月の光っている側の関係について考える。
	2 3	月の形が日によって違うことを、月と太陽の位置の変化と関連付けて理解することができる。	○ボールと光源を使ったモデル実験を見る。 ○鈴カステラを使ったモデル実験を見る。 ○実験を通して、月の見え方と太陽の位置関係について考える。
第二次	4 6	月と太陽の表面の様子の違いについて調べたことをノートにまとめることができる。	○月と太陽の違いについて調べる小テーマを決め、本などの様々な資料を調べる。 ○調べた内容をグループで交流・整理する。 ○調べた内容を文章やイラストでノートにまとめる。 ○単元の学習内容を振り返る。

1 単位時間の指導

目標 調べた内容をグループで交流・整理することを通して、月と太陽の違いについて理解することができる。

展開例（5／6時間）

過程	○主な学習活動			
導入	○学習課題を確認する。 【学習課題】月の表面は、太陽とどのようにちがいがあのだろうか。 ○前時から3つの小テーマ（月の表面について、太陽について、クレーターについて）に分かれて調べていることを確認する。 			
展開	○各自、調べる活動を続ける。 ○自分が担当するテーマについて調べ、付箋のメモを4枚以上書く。 <table border="1" data-bbox="229 837 970 1048"><tr><td>A月の表面 クレーターがある。 くぼみがある。 光を出していない。</td><td>B太陽について 表面は約6000℃ 黒点がある プロミネンスがある。</td><td>Cクレーター 円形のくぼ地 とりまく山脈がある 隕石の衝突でできた</td></tr></table> 学校図書館活用のヒント！ 学校図書館の学習環境を整備することにより、グループ内で対話しながら、主体的な言語活動を展開することができます。 ○同じ小テーマ同士で調べた内容について交流し、キーワードを1つずつ決定する。 ○全体で交流し、多くの班がとりあげているキーワードを、書かれていた本とともに全体で確認する。	A月の表面 クレーターがある。 くぼみがある。 光を出していない。	B太陽について 表面は約6000℃ 黒点がある プロミネンスがある。	Cクレーター 円形のくぼ地 とりまく山脈がある 隕石の衝突でできた
A月の表面 クレーターがある。 くぼみがある。 光を出していない。	B太陽について 表面は約6000℃ 黒点がある プロミネンスがある。	Cクレーター 円形のくぼ地 とりまく山脈がある 隕石の衝突でできた		
終末	○映像資料と簡易実験を見て、月の表面についての理解を深める。 ○本時の学習を振り返り、まとめをノートに書く。 学校図書館活用のヒント！ ICTを活用することで、多様な資料で視覚的な理解を促すことができます。 ○これまでの自分の体験や知識に照らしながら、考えを自分なりの言葉でノートにまとめる。 【まとめ】月の表面には、クレーターなどのくぼみがあり、太陽の表面は、自ら明るく光り輝いている。			

特色ある取組

学校図書館支援センターとの連携

本校の学校図書館は、町立図書館に設置されている「学校図書館支援センター」と連携しながら、授業での学校図書館の活用が促進されるようにしている。主な取組として、授業で活用する図書等の学級単位での貸出、巡回司書の訪問による運営相談、教員が授業に必要な資料についての相談・支援・貸出などがあります。



学校図書館支援センターの活動

学校図書館の活用のポイント

- 学校図書館を十分に活用することができるよう、情報の集め方等について、技能をしっかりと身に付けさせています。
- 「情報カード」など、「情報の収集」「整理・分析」などで活用できるツールを学校図書館に備え、日常的に活用できるようにしています。

単元名

テーマに沿って調べた情報を、分かりやすくスピーチしよう（第1学年 国語科）


単元の目標

学校図書館から興味のある本を選び、テーマを設定して考えをまとめ、説得力のある話をするすることができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
学校図書館にある本の中から選んだ本の内容について、友達に伝えるために、分かりやすく報告しようとしている。	学校図書館にある本の中から本を選んでテーマを決め、テーマに沿った情報を取捨選択してまとめ、分かりやすく話している。	指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などを効果的に使っている。


学校図書館を活用した単元の学習活動例

時	単位時間の目標	○主な学習活動
1	単元の見通しをもつことができる。 学校図書館の役割について知ることができる。	○単元の目標について確認する。 ○情報の種類や特性、目的に応じたメディア利用、図書館の役割について、司書教諭の説明を聞く。 学校図書館活用のヒント！ 学校図書館を十分に活用することができるよう、学校図書館における情報活用能力を育成することが大切です。
2	資料を探す方法を知ることができる。	○学校図書館の分類と配架の仕組みを調べる ○友達のための本探しをする。
3 4 5	著作権に注意しながら情報カードを作成することができる。 	○著作権についての説明を聞く。 ○学校図書館で、興味をもった本を見つける。 ○情報カードの作成法を知り、自分の考えを整理したり、資料収集したりする。 ○話の構成を考え、わかりやすく伝えるため情報カードを作成する。 学校図書館活用のヒント！ 情報活用能力を育成することができるよう、学校で統一した「情報カード」を作成し、学校図書館に置いて日常的に使えるようにしておくことが考えられます。
6	友達の報告を聞いて、自分の考えと比較したり、質問したりすることができる。	○実物投影機を用いて、報告会を行う。 ○友達の報告を聞いて、自分の考えと比較し、必要に応じて質問する。

1 単位時間の指導

目標 分類や配架の仕組みを知り、資料を探す方法を身に付けることができる。

展開例（2 / 6 時間）

過程	○主な学習活動
導入	○本時の目標を確認する。 【学習課題】 資料を探す方法を身に付けよう。 ○図書館の役割について復習する。
展開	○配架の仕組みについて考える。 ○学校図書館は、NDCの分類番号→著者の五十音順→書名の五十音順で並んでいることなど、プリントを使って、NDCについて知識を深める。 ○本4冊を、正しく並び替える。 ○友達の好きだと思うものが載っている本を探し、友達にプレゼントする。 ○プレゼントされた本を棚に戻す。 <div data-bbox="384 1055 1075 1240" style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; display: inline-block;">学校図書館活用のヒント！ 学校図書館を活用するためには、配架の仕組みを理解することが必須です。発達の段階に応じて、体験的な活動を仕組むことにより、深い理解を促すことができます。</div>  
終末	○本を元の場所に戻せたか、確認する。 ○本時の学習を振り返り、学んだことをワークシートに記入する。 【まとめ】 配架の仕組みに詳しくなれば、資料を探しやすくなる。

特色ある取組

巡回の学校司書による取組

本校では、本校のほかに町内の小学校3校を巡回している学校司書が学校図書館を中心に運営しています。なかでも教科等の授業への支援については、授業で使用する資料として、年間指導計画に応じて教科書掲載の本や並行読書用の本、教員から要望のあった資料を用意したりしています。1週間で1校当たり1～2日しか勤務しないため、教員との連携が重要となります。



教員と協力し、日本語と英語の両方で読み聞かせをしています

北海道学力・体力向上対策推進事業
学校図書館活用促進事業
事例集

平成30年3月発行

編集・発行 北海道教育委員会

